

- ++++
◇ 平成24年度共同主催国際会議「第19回国際質量分析会議」の開催について（ご案内）
◇ 日独シンポジウム「ポジティブ・エイジング」（ご案内）
++++

■ 平成24年度共同主催国際会議「第19回国際質量分析会議」の開催について（ご案内） ■

- ◆会 期：平成24年9月15日（土）～9月21日（金） [7日間]
◆場 所：国立京都国際会館（京都府京都市）

日本学術会議と日本質量分析学会が共同主催する「第19回国際質量分析会議」が、9月15日（土）より、国立京都国際会館で開催されます。

当国際会議では、「21世紀のグローバル課題を解決する質量計測科学」をメインテーマに、イオン化、イオン開裂、質量分離、計算化学、検出、生命科学等への各種応用、データベースをはじめとするインフォマティクス等を主要題目として、1000を超える研究発表と討論が行われることとなっており、その成果は、質量計測科学の発展、ひいては科学技術全体の発展に大きく資するものと期待されています。

また、一般市民を対象とした市民公開講座として、9月15日（土）14：00～16：00に「科学技術にマスマス貢献する質量分析」をテーマに市民公開講座が開催されることとなっております。関係者の皆様に周知いたたくとともに、是非、御参加いただけますようお願いいたします。

- 第19回国際質量分析会議 市民公開講座
【科学技術にマスマス貢献する質量分析】
日 時：平成24年9月15日（土）14：00～16：00
会 場：国立京都国際会館「メインホール」

※内容等の詳細は以下のホームページをご参照ください。
○国際会議公式ホームページ（<http://www.imsc2012.jp/>）

【問合せ先】日本学術会議事務局参事官（国際業務担当）付国際会議担当
（Tel：03-3403-5731、Mail：i254@scj.go.jp）

■ 日独シンポジウム「ポジティブ・エイジング」（ご案内） ■

- 日時：平成24年10月9日（火）13時30分～19時00分
■会場：ホテルニューオータニ東京
■趣旨：
世界でも群を抜いた長寿国である日本とドイツは、高齢社会のもつ潜在的な可能性を明らかにすると同時に、妨げとなっている状況や原因について解明しようとしています。本シンポジウムでは、「ポジティブ・エイジング」をテーマとして、日独の最前線で活躍する専門家が一堂に会し、高齢化をめぐる諸課題について講演を行います。最新の科学的知見について情報交換の場を提供します。

- 主催：
ドイツ 科学・イノベーション フォーラム 東京
ドイツ国立学術アカデミーレオポルディーナ
東京大学高齢社会総合研究機構
■後援：
日本学術会議、ドイツ日本研究所、日本老年学会、高齢社会NGO連携協議会
■プログラム 【敬称略】
13:30～14:00 ご挨拶
フォルカー・シュタンツェル（駐日ドイツ連邦共和国大使）

14:00～15:00 第1部：高齢化の可塑性
司会： 柴田 博
（人間総合科学大学保健医療学部学部長、

日本応用老年学会理事長)
講演者： ウーズラM・シュタウディンガー
(ドイツ国立アカデミーレオポルディーナ副会長、
ヤーコプス大学ブレーメン教授)
秋山 弘子
(東京大学高齢社会総合研究機構特任教授、
日本学術会議元副会長)

15:00~16:00 第2部：高齢化と経済
司会： 市村 英彦
(東京大学 公共政策大学院、大学院経済学研究科 教授)
講演者： アクセル・ベルシュ＝ズーパン
(マックス・プランク社会法社会政策研究所ミュンヘン加
齢経済センター (MEA) 所長)
小川 直宏 (日本大学人口研究所所長)

16:00~16:30 休憩

16:30~17:30 第3部：企業・就労のコンテキストにおける高齢化
司会： フローリアン・コールバッハ
(ドイツ日本研究所経営・経済研究部長)
講演者： 清家 篤 (慶応義塾大学塾長)
ウッシ・バックス＝ゲルナー (チューリッヒ大学経営学部教授)

17:30~18:30 第4部：高齢化とボランティア活動
司会： 白澤 政和 (桜美林大学大学院老年学研究科教授、
日本学術会議会員)
講演者： 山内 直人 (大阪大学 大学院国際公共政策研究科教授)
マルセル・エアリングハーゲン
(デュースブルク・エッセン大学社会学科社会学研究所
教授)

18:30~19:00 閉会の辞
フロリアン・クルマス (ドイツ日本研究所所長)
秋山 弘子
ウーズラM・シュタウディンガー

- シンポジウム詳細： <http://www.dwih-tokyo.jp/ja/home/events/positive-aging/>
- 参加費：無料
- 使用言語：日本語・英語の同時通訳
- 参加申込み：
Web (申込フォーム) によりお申込み下さい。
URL： <http://www.dwih-tokyo.jp/ja/home/events/positive-aging/registration-form/>
- 申込、参加に関する問い合わせ先
ドイツ 科学・イノベーション フォーラム 東京
Tel.: 03-5276-8820 E-mail: info@dwih-tokyo.jp

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから
<http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/text/doukousp/index.html>

=====

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

=====

発行：日本学術会議事務局 <http://www.scj.go.jp/>
〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34